

令和7年度 上尾市水道事業実動班 活動報告

上尾市水道事業では、事故や、近年頻発する大規模地震等への備えとして、その対応に重点を置いた「実動班」を、令和2年3月に編成しました。

「実動班」では、事故や災害を想定した各種の講習会や訓練を重ねることで、迅速な対応ができる職員を育成しています。

今回は、6月、7月に行った訓練内容について報告します。

応急漏水修繕（定形でない亀裂等の漏水箇所）の実施

令和7年6月19日（木）緊急時の応急復旧を想定し、応急漏水修繕訓練を実施しました。本訓練では、亀裂を模した不規則な形の孔から漏水している水道管に木製のくさびを直接打ち込み、応急的に止水する作業を行いました。



1. くさびの作成

(1) 本訓練にて使用した木製のくさびとは、木材を加工し作成した幅が4cm以下、長さ20cm程度のものを言います。「実動班」では、くさびの加工段階から訓練を行っております。



2. 漏水箇所へのくさびの打ち込み

(2) これまでの木栓による漏水修繕訓練とは異なり、亀裂を模した不規則な形をした孔から漏水しているため、大きさの異なる複数のくさびを打ち込んで止水を行います。



3. くさびの調整とバンドによる固定

(3) 止水を確認後、くさびのはみ出ている部分を切り取り、ゴムバンドにて固定します。あくまで応急的な処置になりますが、修繕工事を行うまでの数日間であれば十分な止水が可能です。



(4) 完成後

新任実動班員を対象とした管洗浄（座学）基礎編の実施

令和7年7月3日（木）新任実動班員を対象とした管洗浄（座学）訓練を実施しました。新任実動班員は、説明を受けた後、管洗浄の手順などの基礎的な問題を解くことにより、管洗浄への理解を深めました。

講師による説明



経験者である実動班員が講師となり、管洗浄についての基本的な内容や、図面の読み取り方などを説明しました。

基礎問題解説



講師が作成した市内某所で漏水が発生したという想定の問題について、断水の手順と、漏水修繕後の復旧手順を考えました。

指揮能力養成課程対象の管洗浄（座学）の実施

令和7年6月26日、7月17日、31日（木）指揮能力養成課程対象の管洗浄（座学）を実施しました。この講習は、災害時に総合指揮をとれる人材の育成を目的としており、様々な状況に対応し、現場を指揮するため、研鑽を重ねました。

課題の確認および討論の様子



指揮能力養成課程の管洗浄（座学）では、より実践に近い形で検討を行うため、時間経過により市民からの問い合わせが追加される問題や、問題がその場で提示され、口頭で回答を求められるなど、様々な形で出題されます。

«その他訓練»

- 6月12日 給水車（圧送）操作訓練
- 7月10日 管洗浄（座学）J2